式辞

「すべては、一匹のネズミとの出会いからはじまった。」新入生のみなさん、誰の言葉か知っていますか。そう。みなさんがよく知っているウォルト・ディズニーの言葉です。

まだ、名も売れず大変貧しい暮らしをしていた若きディズニーと一匹のネズミとの出会いが、ディズニーの人生そのものを変えていきます。ミッキーマウスという愛くるしいキャラクターが生まれてくる瞬間なのですね。それからすべてが始まります。ディズニーは全世界の子どもたちをはじめ、老いも若きも、すべての人々を魅了してやまない多くの作品を次から次へと生み出していったのです。

私は、出会いという言葉が好きです。出会いとは何も人間だけとはかぎりません。一匹のネズミでもいいのです。一冊の本でもかまいません。出会いには、夢と希望が宿っています。本日皆さんと私たち中学校との出会いの日、始まりの日です。これから三か年という中学生活のすべてが始まるのです。

さて、透き通るような鶯の鳴き声、色鮮やかな花々、肌に触れる風が少しずつ暖かみを増し、自然豊かな能勢の里山にも春がやってきています。一足先に学びの丘の桜が皆さんとの出会いを今か今かと待ち望んでおりました。

本日、ここに能勢中学校第6回入学式を挙行できますことに、学校はこの上ない喜びを感じています。

新入生のみなさん、改めましてご入学おめでとうございます。新しい制服に身を包み、堂々と入場する姿、そして担任の先生から名前を呼ばれ、しっかりと返事をする姿は、とても頼もしく 凛々しく輝いてみえました。是非、大きな志を抱き、夢と希望にあふれる学校生活を送ってください。

昨年は、コロナ禍に翻弄された1年間でした。3月から4月に国から出された緊急事態宣言を受けて、学校の開始が遅れました。正体不明の新型コロナウイルスという恐怖の迫る中、臨時休校、分散登校などを経て、学校が再開されました。しかし、みなさんは、能勢小学校の6年生として下級生の見本となり、最高学年の責任を果たしてくれたおかげで、コロナ禍にありながらも数々の思い出を創る活動を行うことができました。卒業式も立派にやりきってくれましたね。能勢の古墳や山城の授業、そして実際に現地に出かけ、共に能勢の歴史を学ぶ機会を担任の先生方が与えてくださったお

かげで、みなさんとともに過ごす時間ができ、楽しい思い出ができました。

今年は、立場は変わりましたが、毎日、みなさんと一緒に過ごせることを心から嬉しく感じています。

冒頭に触れましたが、「出会い」とは、新しい自分の創造だといっても過言ではありません。人はそれぞれ生育環境が違うし、従って考え方や行動様式が各々異なります。故に、人の出会いとは「新たな価値との遭遇」でもあるのです。これはこうあるべきでこうでなければならないと思っていた考え方が「新しい価値観」との出会いによって、なるほどこういう考え方もあるのだ、と選択の幅を広げていくのです。ある人との出会いが古い自分を脱皮させ、自分を新しく変えていく。そういう意味からすれば、人は、出会いによって一つ成長するし、出会いには自分を高めることができるチャンスをはらんでいます。

これから長い人生の中において、出会いとは、みなさんの未来を創るための人生を切り開く扉でもあるのです。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。これまで、いろんなご苦労がおありだったとことと思います。今日から3年間、大事なお子様をお預かりいたします。心も体もたくましく成長し、自立に向けて非常に大切な時期でもあります。本校の学校居軸目標は「小中９年間で、すべての子どもたちに自立して社会で生き抜く力を育む」でございます。その実現に向けては、生徒を中心に据えて、保護者の皆様と教職員がしっかり連携することが何より大切だと考えております。私ども教職員一同、心を一つにして、ご期待に添えますよう努力してまいりますので、どうぞ、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

さあ、今日から「自律・尊重・創造」を意識して、たくさんのことにチャレンジです。そして、新たな出会いを求めて、自分の可能性を信じ、新しい世界をどんどん切り拓いていきましょう。そして、一人ひとりが輝く 笑顔いっぱいの中学校生活にしていきましょう。

以上、私の式辞といたします。

令和3年4月8日

能勢ささゆり学園能勢中学校

校長　辻　新造